

事業概要【映画ロケ誘致による「海田茶」のブランディングと観光情報のデジタル化による観光客受入環境事業】

事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野（詳細）	地方への人の流れ分野
目的（効果）	美作市出身の映画監督「大谷健太郎」氏がメガホンを取る映画の宣伝力を活用し、海田茶等のブランド化、ロケ地のP Rなどロケツーリズム、原作者のファンを含む映画ファンの取り込み、リピーターや日帰り客を含む観光客の増加、これら一連の推進を図ることで、地域の賑わい創出へと繋げ、美作市の活性化と定住促進と移住者増加を目指すもの。		
事業概要・ 主な経費	○ロケツーリズム推進事業 ・映画の公開に合わせてロケツーリズムを推進するために、ガイド付きのロケ地ガイドツアーを開催する。 ・ロケ地ガイドツアーの企画・開催に係る経費（補助金）650千円 ○ロケ地受入体制整備事業 ・撮影を行ったロケ地に、ロケが行われたことを記すサインを整備する。 ・ロケ地サイン立て看板（可動型）制作事業（補助金）550千円 ○首都圏における海田茶プロモーション事業 ・首都圏の百貨店等と連携して海田茶のPRイベント、販促活動を展開。また、高付加価値な新商品作りを企画する。 ・令和6年度 首都圏海田茶プロモーション事業（補助金）1,650千円） ○海田茶認知度向上事業 ・これまでの首都圏における海田茶ブランディングの成果を地元に戻元し、湯郷温泉街での海田茶の普及活動を行う。（補助金）400千円	 ↑ 映画ロケ風景 首都圏での プロモーション → 	
KPI	①湯郷温泉地内の主要観光施設への来客増加数（+4,500人） ②美作市観光案内へのアクセス数の増加（+30,000件） ③観光客入込数（+9,000人） ④移住定住人口の増加数（+80人）	事業実施主体	みまさか映画創生実行委員会 （市内有識者として、市内事業主等9名 （医療関係、宿泊関係、I T関係、娯楽関係、観光協会など）） ・当事業を推進するに当たって中心的な主体であり、地域に対しても詳しいため、映画撮影のサポートには心強く、また撮影後のP R事業等の展開に対しても、より良い支援主体と成り得る。